

## MEDTRONIC TALENT胸部ステントグラフトシステム 操作上のチェックポイント

### 操作

1. 適応に則った症例選択およびケースプランニング
2. CT 読影とステントグラフトの正確なサイジング
3. アクセスルートの選択と確認
4. ステントグラフト挿入時に必要となる周辺デバイスの準備
5. 副次的アクセス部位より目盛付血管造影用ピッグテールカテーテル挿入準備
6. ステントグラフトの確認と準備（外観とサイズ）
7. グリップ上の水色マーカーとコネクティング・バー（不透過性 $\infty$ マーカー）のアライメント確認
8. フラッシュとエア抜き、クイック・ディスコネクターが外れていないかを確認
9. ステントグラフトの留置ポジショニング確認造影
10. ステントグラフトの挿入
11. コネクティング・バー（不透過性 $\infty$ マーカー）の方向性（大湾側）確認
12. 留置位置と展開位置の確認（標的ランディングゾーンより2～3mm高い位置を推奨）
13. 平均動脈血圧の確認（約80mmHgまで下げることを推奨）
14. ステントグラフトの2つ目のスプリングまで展開し、透視下で再度位置確認
15. 必要に応じて引き戻し、ステントの留置位置の微調整
16. デリバリーシステムの抜去（クイック・ディスコネクターをリリース後、引き、チップの収納を確認）
17. 必要に応じてタッチアップバルーンにて後拡張を行う
18. 確認造影を行う（追加ステントグラフトがない場合は22.へ）
19. 追加のステントグラフトの準備 および上記6.～8.の実施
20. 追加ステントグラフトの留置位置およびオーバーラップ長の確認
21. 追加ステントグラフトの挿入 および上記11.～17.の実施
22. 最終確認造影を行い、エンドリーク等が無いことを確認
23. アクセスルートの造影、問題の有無を確認
24. 体内に残されている併用デバイスを抜去し、動脈切開部位を縫合